

## 江古田小校長室便り 「温故創新」

H29 (2017)・0827 NO27

校長 伊波喜一

「働けど 我が暮らし 楽にならざる」 本腰入れて 若者支援！

総務省のHPには、10代～40代の非正規労働者の割合の推移が載っています。2017年は①15～24歳（在学中を除く）≒30%、②25～34歳≒26%、③35～44歳≒28%（全て小数点第一位を切り捨て）となっています。バブル世代以前であれば、高校や大学を出て会社で終身雇用となっていました。しかし、①②③から分かるのは、中学を卒業する年代から40代の公私ともに忙を極める年代にまたがって、非正規採用があるという現実です。加えて、その4人に1人が非正規採用であり、ある年代だけに見られる特殊な現象ではないということです。1980年代後半の非正規採用率は10人に1人でしたので、今後さらに契約状況が悪化する可能性があります。働くは「傍を楽にすること」と読み替えられます。自らの頭と心と体を動かしたことが、相手のためになっているということほど嬉しいものはありません。雇用保障はそのバロメーターです。どうしたら社会で安定した雇用を創り出していけるのか、国をあげて対策を講じる必要があるのではないのでしょうか。